

令和6年度事業活動実績

I. 公益事業報告

1. パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

(1) 調査・研究事業

2021年度から、社会とパッケージデザインの関わりを調査研究。ユニバーサルデザイン、地域のロングセラーパッケージ、世代別の消費意識等について分科会形式で取り組み、JPDA サイト「情報の森」にて情報発信。活動紹介として「東京 PACK2024」(10月23日～25日) 出展、会期中にセミナーを開催。また、コロナ禍におけるパッケージデザインへの社会の影響変化についての記録を残すべく会員アンケートを実施。

(2) 広報事業

(a) 広報誌の制作、発行

5月にJPDA カレンダーを会員ページに掲載、継続的に更新し最新情報を提供した。初の試みとして会報誌デジタル版を12月に発行(3月一部更新)、委員会活動案内とした。冊子版広報誌「JPDA MAGAZINE vol.11」は、3月に発刊、JPDAの取り組みを紹介する他、2025年金沢デザイン会議に先駆け、能登半島地震被災者の寄稿も掲載した。

(b) アーカイブ活動

アーカイブ作品の保存・研究・記録・発信を継続。インタビュー動画「声のアーカイブ」は、佐藤卓氏に取材し3回に分けて会員ページで公開、ダイジェスト版を一般公開した。DOO 日本デザイン団体協議会 JDM 設立研究委員会活動では、デザインハブでの展覧会「ROOTS OF FUTURE」を共催(9/20-10/25)、会期中にトークセッションなどを開催した。2024年度に計画していたアーカイブセミナーは、2025年度に順延した。

(3) インターネット事業

インターネットメディアを活用してJPDA活動を発信するとともに、マイワークスの管理運営のほか、SNSでは発信頻度を高めた。2023年にスタートしたデジタルマガジン「ぱっけーじん」は、テーマごとに5回の特集記事および関連寄稿、コラムを公開した。SNS活用や既存サイトとの連携を今後さらに充実させる。

2. パッケージデザインに関する表彰についての公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業及び、パッケージデザインに功績のあった人並びに団体の顕彰等

(1) 日本パッケージデザイン大賞

「日本パッケージデザイン大賞2025」を実施、応募1000点、入選417点、入賞35点を数えた。「ポーラ コスモロジー」が大賞を受賞。2025年2月に贈賞式と大賞受賞者によるトークショーを開催、コロナ禍で中断していたレセプションを再開、受賞者の交流を深める機会ともなった。

(2) パッケージデザイン功績賞

パッケージデザインの社会的重要性の認識を高め、日本のパッケージデザインの向上に寄与した個人、または法人に贈る「パッケージデザイン功績賞2024」の贈賞式を6月に開催、虎屋のパッケージ、ブランディングなどを手がけた葛西薫氏に贈賞した。当日、葛西氏による記念セミナーを開催、講演概要はデジタルマガジンサイトで公開した。

(3) 日本パッケージデザイン学生賞

第3回「日本パッケージデザイン学生賞」を実施、学生向けのセミナー・ワークショップ、受賞者の企業研修も開催した。応募 744 点、一次通過 237 点、入選 196 点、受賞 30 点となった。11 月に贈賞式開催、今回と前回の受賞作品は『年鑑日本のパッケージデザイン 2025』に掲載される。また、10 月の APD アジアパッケージデザイン会議に合わせた韓国ソウル京義大学でのワークショップには、前年々々の上位受賞者 6 名が参加した。

3. パッケージデザインに関する展覧会事業

(a) 創作パッケージデザイン展

隔年でオリジナルの展覧会を企画、2025 年度開催の新たな展覧会に向けた企画を進めた。2025 年は「昭和 100 年パッケージ」を開催することとし、創作展とともに昭和パッケージの歴史をアーカイブ展示する。3 月から創作パッケージの出品募集を始めた。渋谷ヒカリエ 8/CUBE にて 2025 年 12 月開催を予定している。

(b) パッケージデザイン大賞 2025 巡回展（名古屋開催）

JPDA パッケージデザイン大賞 2025 名古屋巡回展を名古屋市内の国際デザインセンターにて開催した（3/5-3/10）。展示期間中にはギャラリートークを開催。

(c) 「現代日本のパッケージ」展

印刷博物館と包装パッケージ 3 団体が共催する「現代日本のパッケージ 2024」展（10/5-12/8）において、2024 年 5 月に刊行した『PACKAGE DESIGN INDEX 2024』の掲載作品よりピックアップした特集展示<パッケージ and つながるデザイン>を企画した。会期中のトークイベントも企画、JPDA 関係者が登壇した。

4. パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

(1) セミナー事業

(a) トークカフェ 2024

「パッケージデザインのひみつ」～みんなで話そうパッケージデザインのひみつ～と題したトークイベントを 3 月に開催、2023 年 5 月刊行の書籍『パッケージデザインのひみつ』の執筆者 11 名を招き、パッケージのさまざまな工夫を紹介、学生を含む幅広い層が参加した。

(b) 西日本デザインセミナー

8 月に大阪にてセミナー「分かりやすさとは何か？ デザイナー必見！ UCD を学ぶ」を開催した。パッケージ表示における UCD（ユニバーサルコミュニケーションデザイン）を学ぶ機会とした。セミナー後には、講師を交えた交流会も開催した。

(c) 西日本リアル見学会

大阪府のサントリー山崎蒸留所への見学会を 11 月に実施、歴代のウイスキーボトルやポスター展示の見学、元工場長によるセミナー、工場見学など。見学会後は別会場にて交流会を開催した。

(d) 中日本（愛知・岐阜）パッケージデザイン講演会（名古屋開催）

10 月に名古屋市の榎木館にて、仕覆作家・山田英幸氏によるセミナーを開催。大正時代の歴史ある建物の中で、茶道具を入れる袋＝仕覆の実作品を見ながら、伝統と革新を知るセミナーとなった。

(e) 中日本（北陸）富山デザインフェア

富山市主催のデザイン振興イベント（10/4-6）において、学生を対象とした「パッケージデザインコンペティション」入賞作品展及び、JPDA 会員の作品展示をおこなった。期間中には、前田晃伸氏によるデザインセミナーや子供向けワークショップなども開催された。

(f) 中日本（北陸）JPDA Talk café 2024 in 金沢

若手デザイナー育成セミナーとして、10月に金沢美術工芸大学にて客員教授でもある石浦弘幸氏を講師にトークイベントを開催した。後半は、能登復興応援酒「つなぐ石川の酒」開発裏話を車多一成氏とのトークセッションとした。

(2) 権利保護事業

(a) サイトでの知財情報発信

JPDA サイトにて知財関連の情報発信（専門家によるコラム「知財くんがゆく」）を年度内に3回掲載した。今回は意匠に関する2件と、7月に開催したセミナーのレポートを兼ねて、ストックフォトに関する記事とした。

(b) デザイン保護セミナー

7月にデザイン保護セミナー「Adobe Stockに聞く！ストックフォトの今とこれから」をオンラインで開催した。年度後半に予定していたリアル開催の「知財勉強会」は、講師都合により、2025年度開催とした。

(3) 育成事業

10月から12月にかけて「パッケージデザインの学校 2024～ブランドとパッケージ～」をオンライン開催。企業経営者、デザイナー、マーケッターなど幅広い講師陣による計11講座とした。うち3講座は会場とのハイブリッド開催、講演後の会場「放課後座談会」では講師に対し活発に質問がなされた。新たに導入した、企業向け「受け放題プラン」は119社からの受講を数えた。

5. パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

(1) 全国会議事業

全国規模のオンライン交流会「みんなでつなごう！デザインの輪」は、5月に小川裕子デザイン訪問とした。オンラインならではの企画として、全国から参加者を得た。年度後半期に計画していたポーラ訪問は、次年度に持ち越しとした。

(2) 新年交流事業

(a) 東日本 新年デザイン交歓会

「新年デザイン交歓会」を1月に、講演会と交流会の二部構成で開催。前半は、甲斐みのり氏による講演「好きの始まりはパッケージデザインから」。「パッケージデザイン愛」に溢れたコレクターとしての視点から、パッケージデザインの魅力を語っていただいた。交流会は前年を越す参加者を得て、新たな活力をもたらす機会となった。

(b) 西日本 セミナー&デザイン交流会

大阪にて3月に開催。セミナーは香川大学・南政宏氏「地域課題とデザイン教育の現場から」。地域のパッケージデザインの課題解決の取り組みやアイデア出しの内容などを伺った。交流会では即興のトークショーになるなど、活発に交流が図られた。

(3) 国際交流事業

(a) 海外デザイナーとの交流

韓国パッケージデザイン協会（KPDA）元会長 KANG, BOO YUN 氏が来日する機会の2月に東京都内で開催した。40年のデザインキャリアからの経験と大学教授でもある講師のデザインフィロソフィーを語っていただいた。講演後は会場内での交流会とし、日本語も堪能な講師と参加者の意見交換、交流がおこなわれた。

(b) 国際交流オンラインセミナー

今回の海外からのリアルタイム・オンラインセミナーは、カンボジア「過去に向き合うクリエイティブ。未来をつくるクリエイティブ。」と題し、カンボジア在住のクリエイター、中村英誉にお話を伺った。日本とは違う歴史を辿った国のリアルな情報を聞き、クリエイティブはどのように社会課題と向き合い、役割を果たせるのかを考える機会となった。

(c) 海外研修視察ツアーの準備

コロナ禍で休止していた海外研修視察ツアーを再開するための準備として、情報収集とともに、参加者の要望把握を目的に会員アンケートを実施した。2025年度以降の実施を目指し、引き続き検討していく。

(d) アジアパッケージデザイン会議（APD）

アジア各地域のパッケージデザイン団体によるアジアパッケージデザイン会議（APD）が、韓国にて KPDA 韓国パッケージデザイン協会のホストで10月に開催された。各国地域からのエリアレポート発表による情報共有、作品展示、APD アワード、APD 貢献賞の選出など多彩な行事で、参加する各地域のデザイナーとの交流が図られた。

(4) 東日本大震災復興支援事業

東北プロジェクトによる復興支援活動は休止しているが、学生賞企画の一環としてのセミナーやワークショップ開催などで東北地域の支援も継続している。今年度、新たに復興支援プロジェクトを立ち上げ、将来に向けた復興支援事業のあり方を模索とともに、来年度以降の他事業との連携を検討している。

6. パッケージデザインに関する出版事業

(a) 年鑑日本のパッケージデザイン 2025

日本パッケージデザイン大賞 2025 の入賞・入選作品を掲載した『年鑑 日本のパッケージデザイン 2025』を、2025年5月発刊に向けて、企画・編集を行った。巻末特集は、「Next Generation 座談会」とし、2025大賞受賞者らの座談会記事を掲載する。また、日本パッケージデザイン学生賞 2023 および 2024 の受賞作品も収録する。

(b) PACKAGE DESIGN INDEX 2024

『PACKAGE DESIGN INDEX 2024』を5月に発刊した。20冊目の節目として誌面を刷新、掲載するデザインをパッケージデザインに関わるデザイン全てに広げた。掲載社の業務領域とデザインポリシーが一目でわかり、インターネットメディアと連携が図れるようにするなど資料的な価値を向上させた。

(c) 新企画本

2022年度より掲載パッケージの公募・収集、編集・検討を進めてきた新企画本「ステキなパッケージ」は、2023年度までにセレクトした国内外の掲載候補パッケージに対して、217点全点の許諾作業を今年度完了した。来年度、出版社との交渉、編集作業を進め、2025年秋の発刊を目指す。

II. 収益事業報告

収益事業

アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

平成 27 年 6 月、(独) 国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託することで変更認定を受けたが、令和 2 年度になり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アスパックの全ての事業が中止となり、令和 3 年 3 月をもって主催者であり事業の委託元である (一社) アスパック協会も解散となったことから、当協会の収益事業は休止している。

III. 法人事業報告

顕彰事業

顕彰規定に基づき、令和 5 年度に理事会にて選考を行い、贈賞対象者に決定した桑和美氏に対する JPDA 貢献賞 2024 の贈賞式を 6 月に開催した。桑氏には、自身の長い協会活動に関する寄稿をいただき、デジタル版会報誌に掲載した。

IV. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

1. 経済産業省・厚生労働省

令和 6 年 4 月「デザイン業界の新型コロナウイルス感染拡大による直近 3 か月の概況調査」(1 月～3 月)に関するアンケート協力

令和 6 年 7 月「デザイン業界の新型コロナウイルス感染拡大による直近 3 か月の概況調査」(4 月～6 月)に関するアンケート協力

令和 6 年 10 月「デザイン業界の新型コロナウイルス感染拡大による直近 3 か月の概況調査」(7 月～9 月)に関するアンケート協力

令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月 経済構造実態調査に関する情報をはじめ、会員への周知依頼に対応、協会ウェブサイトに掲載するとともに会員メールにて情報配信を行なった。

令和 6 年 7 月 10 日 フリーランス法について、中小企業庁による説明会を役員に対し実施。

令和 7 年 2 月 26 日 経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業政策研究会」に、信藤理事長がオブザーバー委員として出席。

2. 日本デザイン団体協議会 (略称 D00/ディーオーオー)

(1) D00 運営会議

令和 6 年 5 月 21 日 (オンライン 小川理事長、高麗理事、中越事務局長)

令和 6 年 7 月 29 日 (ハイブリッド 小川専務理事＝令和 7 年 6 月末まで D00 運営会議議長、信藤理事長、福本副理事長、高麗理事、中越事務局長)

令和 6 年 9 月 17 日 (オンライン 小川専務理事、信藤理事長、福本副理事長、高麗理事、中越事務局長)

令和 6 年 11 月 19 日 (ハイブリッド 小川専務理事、福本副理事長、中越事務局長)

令和 7 年 1 月 20 日 (ハイブリッド 小川専務理事、高麗理事、中越事務局長)

令和 7 年 3 月 19 日 (ハイブリッド 信藤理事長、福本副理事長、高麗理事、中越事務局長)

(2) デザインハブ第 110 回企画展「ROOTS OF FUTURE 過去を探って、未来を見つける」共催

令和 6 年 9 月 20 日-10 月 25 日 (六本木・東京ミッドタウン デザインハブ)

会期中開催のトークイベント (10 月 20 日) に、入江理事が登壇

(3) ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会 (JDM 委員会)

- 令和 6 年 4 月 19 日 (ハイブリッド 入江理事)
- 令和 6 年 5 月 22 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 6 年 6 月 19 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員)
- 令和 6 年 7 月 11 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員)
- 令和 6 年 8 月 21 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 6 年 9 月 18 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 6 年 10 月 16 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員)
- 令和 6 年 12 月 5 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員)
- 令和 6 年 12 月 26 日 (ハイブリッド 信藤理事長、入江理事、柴野委員)
- 令和 7 年 1 月 28 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員)
- 令和 7 年 2 月 19 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員)
- 令和 7 年 3 月 26 日 (ハイブリッド 信藤理事長、入江理事、)

(4) ジャパンデザイナーズ広報特別委員会

- 令和 6 年 12 月 10 日 (オンライン 高麗理事、中越事務局長)

(5) デザイン保護研究会

- 令和 6 年 4 月 24 日 (オンライン 竹内理事)
- 令和 6 年 4 月 30 日 (経済産業省デザイン政策室訪問 徳岡委員)
- 令和 6 年 6 月 26 日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)
- 令和 6 年 8 月 21 日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)
- 令和 6 年 9 月 4 日 (知財・情報フェア&コンファレンス、徳岡委員)
- 令和 6 年 10 月 16 日 (DOO・JADELA 意見交換会 竹内理事)

3. 外部団体への事業協力

(1) (公社)日本包装技術協会

- 令和 6 年 6 月 7 日 「2024 日本パッケージングコンテスト」 審査会 福本理事 (代理出席)
- 令和 6 年 8 月 28 日 「2024 日本パッケージングコンテスト」 表彰式 福本副理事長

(2) 凸版印刷(株)印刷博物館

- 令和 6 年 10 月 27 日 P&P ギャラリーで開催の「現代日本のパッケージ 2024」展でのトークショー「パッケージ and つながるデザイン」に内田理事、および委員・会員 2 名が登壇

(3) (一社)日本印刷産業連合会

- 令和 7 年 2 月 14 日 「第 64 回 2025 年ジャパンパッケージングコンペティション」 審査会 信藤理事長

V. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

(1) 後援名義

- ・「第 26 回福岡デザインアワード」 主催：福岡県産業デザイン協議会、福岡県
- ・「World Interiors Week 2024 in Japan」 主催：(公社)日本インテリアデザイナー協会、(公財)日本デザイン振興会
- ・「パッケージ展 2024」 主催：(公社)大阪産業局
- ・「インド、ベンガルールデザインウィーク 2024 出展、視察ツアー」
主催：クリエイティブネットワークセンター大阪 MEBIC
- ・「コンテンツ東京 (第 16 回 2024 年秋)」 主催：RX Japan(株)

- ・「第 18 回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」
主催：全日本印刷工業組合連合会
 - ・「第 64 回 2025 年ジャパンパッケージングコンペティション」
主催：(一社)日本印刷産業連合会
- (2) 共催名義
- ・「現代日本のパッケージ 2024」主催：TOPPAN ホールディングス(株)印刷博物館
 - ・「富山デザインフェア 2024」主催：富山市、運営：富山デザインフェア実行委員会
- (3) 協賛名義
- ・「第 98 回東京国際ナショナル・ギフトショー秋 2024」主催：(株)ビジネスガイド社
 - ・「第 53 回日本プロモーション・マーケティング協会展 2024」
主催：(一社)日本プロモーション・マーケティング協会
 - ・「ラベルフォーラムジャパン 2024」主催：ラベル新聞社
 - ・「TOKYO PACK 2024」主催：(公社)日本包装技術協会
 - ・「第 35 回 西日本食品産業創造展'25」主催：日刊工業新聞社
 - ・「第 99 回東京国際ナショナル・ギフトショー春 2025」主催：(株)ビジネスガイド社
 - ・「page2025」主催：(公社)日本印刷技術協会
 - ・「リニューアルオープン展 (ペーパーボイス大阪)」主催：平和紙業(株)大阪本店
- (2) 協力名義
- ・「オオサカデザインフォーラム」主催：大阪芸術大学
 - ・「ライティングオブジェ 2024」主催：ライティングオブジェ制作委員会

VI. 会議開催状況

- | | | |
|-----------------|------------------|--|
| (1) 総会 (第 43 回) | 令和 6 年 6 月 17 日 | 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室 |
| (2) 臨時総会 | なし | |
| (3) 定例理事会 | 令和 6 年 5 月 8 日 | 文京シビックセンター 会議室 |
| | 令和 6 年 7 月 10 日 | JPDA 事務局を拠点にオンライン開催 |
| | 令和 6 年 9 月 11 日 | 文京シビックセンター 会議室 |
| | 令和 6 年 11 月 13 日 | JPDA 事務局を拠点にオンライン開催 |
| | 令和 7 年 1 月 29 日 | 文京シビックセンター 会議室 |
| | 令和 7 年 3 月 12 日 | JPDA 事務局を拠点にオンライン開催 |
| (4) 臨時理事会 | 令和 6 年 4 月 17 日 | 文京区民センター 会議室 |
| | 令和 6 年 6 月 17 日 | 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室 |
| (5) 会員入会審査 | 令和 6 年 4 月 17 日 | 文京区民センター 会議室 |
| | 令和 6 年 5 月 8 日 | 文京シビックセンター 会議室 |
| | 令和 6 年 7 月 10 日 | JPDA 事務局を拠点にオンライン開催 |
| | 令和 6 年 9 月 11 日 | 文京シビックセンター 会議室 |
| | 令和 6 年 11 月 13 日 | JPDA 事務局を拠点にオンライン開催 |
| | 令和 7 年 1 月 29 日 | 文京シビックセンター 会議室 |
| (6) 各委員会 | 令和 7 年 3 月 12 日 | JPDA 事務局を拠点にオンライン開催 |
| | 令和 6 年度中 | 調査研究、広報、アーカイブ、コンペティション、
学生コンペ、展覧会、デザイン保護、育成、出版、総務、及び地域の
各事業で、オンラインも活用し委員会を開催した |

VII. 令和6年度会員異動状況

会員別	令和6年3月31日	令和6年4月1日～令和7年3月31日		令和7年3月31日
		入会	退会	
法人会員	231	9	10	230
個人会員	456	13	38	431
賛助会員	2	15	0	17
合計	689	37	48	678

VIII. 報告事項

- (1) 令和6年6月28日 内閣総理大臣あて、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第129条第1項に規定する計算書類等、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条第1項第2号、及び同法施行規則第38条第1項第2号及び第3号の規定による令和5年度事業報告及び収支決算書に係わる書類の提出。(電子報告)
- (2) 令和6年7月8日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定による代表者の氏名の変更、理事、監事の氏名の変更。(電子報告)
- (3) 令和7年3月28日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定による令和7年度事業計画書及び収支予算書の提出。(電子報告)

以上